

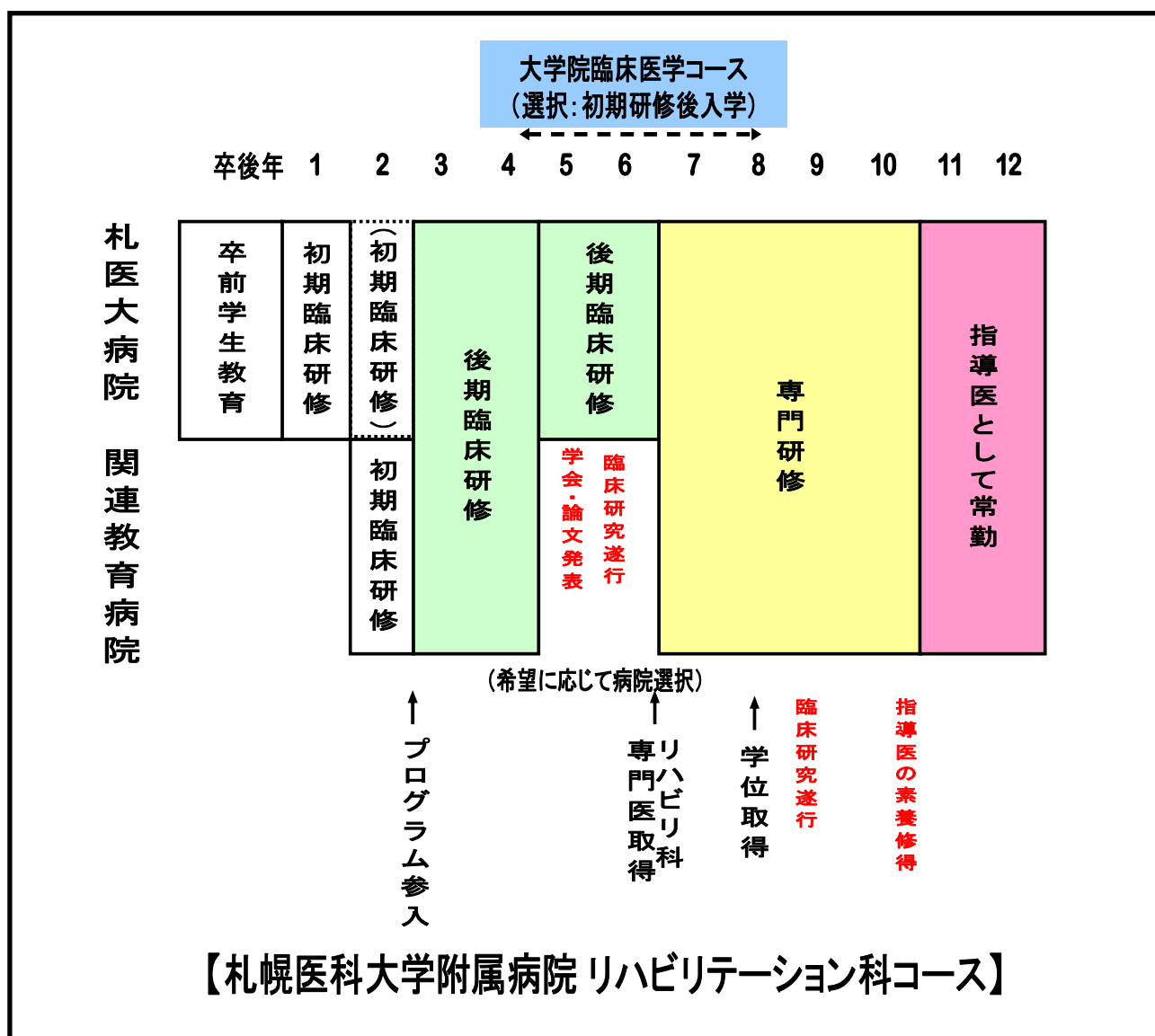
# リハビリテーション科

## リハビリテーション科コース

### (1) コースの全体像

リハビリテーション科専門医・指導医に相応しい知識・技能を修得することを目指し、日本リハビリテーション医学会専門医制度卒業研修カリキュラムに沿った研修を行う。①初期研修は1-2年目札幌医科大学附属病院の研修コースの選択を推奨。②3-4年目は札幌医科大学附属病院リハ科とその関連教育病院において、一例毎により深い診療経験を積み重ねる。③5年目は、札幌医大リハ科でリハ全般の知識・技能を体系化し、また、症例報告や臨床研究の学会／論文発表をリハ医学会等で行い、専門医取得の準備とする。④専門医取得以降は札幌医大病院リハ科又は関連教育病院においてリハ科指導医となるための研修を行う。⑤希望者は大学院もしくは臨床大学院に入り臨床に併行し学位も取得。⑥さらに1-2年間札幌医大病院リハ科で、より高度な専門分野のエキスパートとしての研修を積み、また、地域リハ・ネットワーク構築にも参画する。

②⑤⑥の一部は、他コースの一部も選択出来る。



(2) コースの概要

コース名： 札幌医科大学附属病院 リハビリテーション科コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
札幌医科大学附属病院	リハビリテーション	急性期リハビリテーション	5	急性期リハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	5	4～5年
新さっぽろ脳神経外科	リハビリテーション	脳神経外科分野における急性期・回復期リハビリテーション	1	脳神経外科分野におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌西円山病院	リハビリテーション	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーション	3	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
札幌第一病院	リハビリテーション	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーション	1	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
北海道事業協会函館病院	リハビリテーション	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーション	1	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
手稲ロイヤル病院	リハビリテーション	回復期・療養型病床におけるリハビリテーション	1	回復期・療養型病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
登別厚生年金病院	リハビリテーション	スポーツ医学・急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーション	1	スポーツ医学・急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
旭川リハビリテーション病院	リハビリテーション	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーション	3	急性期・回復期・療養型病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
北海道立総合子ども医療・療育センター	リハビリテーション	小児急性期・療育病床におけるリハビリテーション	1	小児急性期・療育病床におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
釧路孝仁会記念病院	リハビリテーション	脳神経外科分野における急性期リハビリテーション	1	脳神経外科分野における急性期リハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
星が浦病院	リハビリテーション	脳神経外科分野における回復期リハビリテーション	1	脳神経外科分野における回復期リハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年
中村記念南病院	リハビリテーション	脳神経外科分野における急性期・回復期リハビリテーション	1	脳神経外科分野におけるリハビリテーションの研修。他コースの研修医も研修可能。	1	1～3年

(3) コースの実績

2007年の札幌医科大学付属病院リハビリテーション科・8関連教育病院合わせたコース全体の総入院症例数750例であり、受入人数がリハビリテーション医学専門医を取得するのに十分な実績を有している。

(4) コースの指導状況

札幌医科大学付属病院リハビリテーション科には5名のリハビリテーション科専門医(うち2名が指導責任者)、1名の整形外科専門医制度の指導医がおり、また関連医療機関にも指導医、専門医が勤務して研修施設あるいは関連施設になっている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本リハビリテーション医学会
資格名	リハビリテーション科専門医
資格要件	<p>&lt;専門医申請資格&gt;</p> <p>第2条 専門医として認定を受けられる者は、次の各号に掲げる資格を有意し、第3条に定める日本リハビリテーション医学会(以下「本医学会」という。)の行う試験に合格したものに限る。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 医師免許取得後5年以上及び本学会加入後3年以上を経過していること。</li><li>2. 本学会の定めた日本リハビリテーション医学会専門医制度卒後研修カリキュラムに基づき本医学会が認定する研修施設において3年以上の研修を行ったものであること。</li><li>3. 本医学会における主演者の学会抄録2篇及びリハビリテーション医学に関する筆頭著者である論文1篇を有すること。</li><li>4. 自らリハビリテーション医療を担当した30症例の症例報告を提出すること。</li><li>5. 自らリハビリテーション医療を担当した100症例のリストを提出すること。</li></ol> <p>第3条 前条に規定する資格の審査に合格した者について、試験を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 試験は、毎年1回施行する。</li><li>2. 試験方法は、別に定める。</li></ol>
学会の連携等の概要 当該学会主催の年次学術集会及び北海道地方会、専門医・認定臨床医生涯教育研修会等に積極的に参加し、学会発表経験を積み、また、連携病院では必ずしも習得し得ない国際レベルの専門的知識・技能を身につける。	